



郷土の偉人を紹介するため、平成26年阿南市文化協会から「阿南市の先覚者たち第1・2集」が刊行されました。阿南市の発展に尽力された人たちの偉業を顕彰し、後世に語り継ぐために、27人の先覚者たちを奇数月に掲載して紹介します。

郷土の偉人を紹介するため、平成26年阿南市文化協会から「阿南市の先覚者たち第1・2集」が刊行されました。阿南市の発展に尽力された人たちの偉業を顕彰し、後世に語り継ぐために、27人の先覚者たちを奇数月に掲載して紹介します。

島津華山は京都に居住した兵法家の島津義忠の子として生まれた。しかし、華山が産まれてすぐに母が亡くなり、翌々年には父とも死別。そのため父の親友であった医師の京極高安に引き取られて養子となつた。学問を好み、儒学に専念。宝暦12年（1762）、華山が25歳のときに京極高安が亡くなり、姓を島津に戻したのちに、阿波平島に渡る。なぜ平島に来ることになつたのか明確ではないが、8代阿波公方の義宣からの誘いがあり、子弟の教育のため、招かれたといわれている。華山は京都詩壇の大御所でもあつた江村北海らの門に、後に9代阿波

## 阿波公方義根の先生

### 島津華山

公方となる義根と共に出入りするなど、たびたび京阪に赴き、中央詩壇に義根ら平島の漢詩者を紹介。そして天明6年（1786）に義根が漢詩集『栖龍閣詩集』を刊行した。また、華山は徳島藩の儒者であつた那波魯堂をはじめとする多くの文人と親交を結んだほか、赤池村の医師高橋赤水、赤池村の西光寺24代住職堅如、今津浦の信行寺10代住職才玄、同じく今津浦、照円寺の淨本、古津村の富本濟仲ら多くの優れた漢詩人を育てた。

寛政6年（1794）7月に華山は亡くなった。享年57である。墓は那賀川町の須賀の庵に建立されている。昭和の時代、この墓を修理した際に銅板の墓誌が出土。この銅板は現在、阿波公方・民俗資料館に展示されている。

### 参考資料

「阿南市の先覚者たち 第一集」  
2014・阿南市文化協会

☆今回でこのシリーズは最終回となりますが、長い間ご精読ありがとうございました。次回からは「阿波公方」に関するお話を（タイトル未定）を奇数月で連載します。お楽しみください。

### 問い合わせ

文化振興課 ☎ 22-1798

## 企画展「目で見る儒学・漢詩・中国古典－生野コレクションI 鈴木鳴門・那波魯堂ほか－」

昨年、本市にご寄贈いたしました故生野勇先生のコレクションを展示します。本展示では第一弾として、阿波公方の文芸にかかるわる儒学や中国古典を題材とした藩絵師・儒者の作品をご紹介します。

期間 11月11日（火）～12月14日（日）

9:00～16:30

（※月、祝日は休館）

場所 阿波公方・民俗資料館 展示室  
(那賀川町古津339-1)

入館料 大人200円（中学生以下無料）  
※「関西文化の日」（11月15日（土）、16日（日））の2日間に限り入館料無料です。

問い合わせ 文化振興課  
☎ 22-1798



## 令和7年度「史跡若杉山辰砂採掘遺跡」普及啓発講演会 「いにしえの鉱山採掘」開催について

近年「若杉山辰砂採掘遺跡」の学術調査によって弥生時代における採掘技術の様相が解明されつつあり、その注目度が高まっています。については、これを契機として鉱山遺跡に関する魅力と歴史的意義を多くの方に知っていただきたく、鉱業の歴史や鉱山採掘技術などに精通した研究者をお呼びし講演会を実施します。

日時 11月15日（土）13:30～16:00

場所 夢ホール（文化会館）

富岡町西池田135番地1

### 講演内容および発表・報告者

「辰砂（朱）の鉱床と採鉱」

九州大学名誉教授 井澤英二さん

「多田銀銅山からみる鉱山採掘技術について（仮題）」

猪名川町教育委員会 青木美香さん

「弥生時代の鉱山採掘」 文化振興課 向井公紀

※入場無料、事前申込なし

主催 阿南市 協力 日本鉱業史研究会

問い合わせ 文化振興課 ☎ 22-1798